



「Day0・リハビリテーションの機能回復効果と 術後当日 入院費用削減」がアワードを受賞



アメリカ整形外科学会/アメリカ整形基礎学会に藪野・澤田が参加

2018年3月、ジャズとミシシッピ川で有名な街、ニューオーリンズでアメリカ整形外科学会(AAOS 2018)とアメリカ整形基礎学会(ORS 2018)が開催され、藪野・澤田が参加しました。まず、驚かされたことは、ルイアームストロング空港(名前からしてジャズファンにたまらないと思う)に降り立つやいなや、生演奏が空港内で始まったことです。まさに晴天の霹靂の出来事で、いよいよ大阪からジャズの街にやってきたんだと実感しました。

さて、今回の目的は、2つあります。一つ目はこれまでの藪野・澤田が取り組んできた成果を学会発表することです。二つ目は刻々変化する人工関節の世界において、最新の低侵襲手術・医療機械・リハビリテーションなどについて、海外のドクターの話聞き、また意見交換することです。

★学会賞の受賞 – Day0・リハビリテーションはどのような効果をもたらすか –

一つ目の目的である発表は、今回2演題行いました。

一つ目の演題は、人工股関節全置換術において**手術当日(Day0)より、リハビリテーションを行う**ことで、**早期の機能回復と合併症の低下**、そして**入院費用の削減**につながったというものです。

もう一つの演題は、人工膝関節単顆型置換術による**患者満足度への貢献**についての報告です。人工膝関節単顆型置換術では、患者さん本来の人体や半月板を温存するため、膝のぐらつきが手術により低下することがなく、さらに**安定した膝**になります。この安定した膝がどれくらい患者満足度につながったかを報告しました。

特に、人工股関節置換術の術後当日リハビリテーションの機能改善効果と医療費削減については、世界中の人工関節関係者に大きなインパクトを与え、高く評価をして頂きました。その結果として**学会賞に選出**されました。



評価 POINT

北米やヨーロッパの一部では、人工関節置換術の日帰り手術の取り組みが始まっています。そのため、今回の我々のDay0・リハビリテーション(術後当日リハビリテーション)に対する効果が評価されたと考えられます。

日本においても、国家予算に対する医療費の割合の増大、医療費の高騰が深刻化し、国民健康保険制度の維持が難しくなっている大きな社会問題になっています。我々のこのような取り組みが国内でも評価され、日本人にとって「より良い人生100年時代」がくることを期待します。

最後になりましたが、今回の受賞はリハビリテーションのセラピストやナースはじめ、チーム一丸となって取り組んだ結果であると感じています。

今後も人工関節センターは、より良い安全安心な医療を目指しますので、よろしくお願い申し上げます。